

いばらきオンラインスタディを活用した反転授業

6/8 ~

目的

- ・臨時休校で実施できなかった学習内容を、反転授業を活用して効果的に身に付ける。
- ・児童生徒がいばらきオンラインスタディを活用して学習した知識を十分に生かすとともに新しい学習様式を身に付け、今後の学習につなげる。

反転授業とは...?

- ・授業と宿題の役割を「反転」させる授業形態のこと。
- ・自宅で動画などで学び、授業に先立って知識を習得したり、自分の考えをもったりする。
- ・授業では、対話をとおして、学んだ知識を確認し、問題解決学習などの協同学習により、「使うことで学ぶ」活動を行う。



反転授業のよい点は？

- ・事前にめあての把握や知識の習得ができる。授業では「主体的・対話的で深い学び」につながる授業がより一層展開できる。
- ・動画教材は、授業前、授業中、復習において活用でき、分かるまで繰り返し確認することができる。
- ・問題を解く時間や考えを表現する時間などを授業中に十分とれるため、児童生徒一人一人を見取り、適切な支援をきめ細かく行うことができる。

どのような教材を準備すればよいですか？

- ・いばらきオンラインスタディや市教育研究会作成動画などを活用する。
- ・動画にワークシートが用意されていない場合は、動画を視聴した内容についてまとめるワークシートを作成する。
- ・教科書やワークブックを活用して、授業のポイントを確認する。

動画教材を作成する際には、どのような点に留意するとよいですか？

- ・次時の「ねらい」を伝える。
- ・次時の学習する内容を伝え、事前に個人の考えや見通しをもつことができるようにする。
- ・次時の問題を解くヒントを与え、事前に理解できるようにする。
- ・次時に学ぶ知識・技能を事前に理解できる内容にする。
例：実験・観察の準備・方法、作業方法を伝える。

授業のすすめかたはどのようにすればよいですか？

【導入】

- ・本時のめあてやポイントを全体で確認する。
- ・学んできた内容や自分の考えをペア・グループで伝え合い、共有する。

【展開】

- ・基礎基本定着問題や発展応用問題に取り組ませる。
※練習問題は授業中に実施。(宿題にしない。)

【まとめ・振り返り】

- ・本時のまとめ、振り返りを行う。

【家庭学習を予告する】

- ・次時の授業の課題を与える。